

# 由利

立教185年 令和4年

3 月 号



## 教区長として最後の全体会議

二月

一ヶ月間の主な歩み

一九日 北蒲原分教会月次祭

二二日 大教会月次祭

二三日 婦人会勉強会

二六日 御本部月次祭、由利婦人会

二八日 教区主事会議(リモート)

三月

一日 コロナお願いづとめ  
教区全体会議、教区婦人会例会

二日 支部婦人会(9時半)  
教区春季霊祭

三日 支部例会(上之浜分教会)

五日 お問い合わせ(十二下り)

六日 第一回 前会長及び

中高年層よふぼくの集い  
会長・理事会議(15時半)

十二日

## 今月の言葉

由利分教会長

佐々木 正 明

先月に引き続き、道友社発行の「真実の道 道を啓いた先人・先輩の教話集」より抜粋します。

おたすけの心

九月十二日、A氏がやって来た。悄然としてやって来た。このA氏の言うこと、A氏から私の聞くこと、これはいつも同じだ。おたすけ人にはあるまじき悲しい報告だ。

「会長様、もう今日で百日にもなりますのに、まだなんのご守護もありますせん。一体どうしたのでしよう？」

哀れっぽい話の限りだ。いつもの私なら、何とか彼(か)とか、寝言のような教理を取り次いでいたであろう。それが、その瞬間、ふと私の胸にひらめくものがあつた。私はそのひらめきを素早くとらえて諄々と諭した。諭している間に、A氏よりも

私が多まらなくなれしくなってきた。A氏の顔も晴れやかだ。確かに聞き取れたに違いない。

A氏はその勇んだ心でおたすけに行つた。そして、確かなことは言い切れぬが、百十幾度目かのおさづけが初めて効きだしたのである。中風(ちゅうふう)はすぐにご守護頂けた。

その日、私がA氏に諭した話、自分自身が諭された話。それは何か？ ほかでもない、「かりもの」ただこれだけである。

おたすけに運ばしていただく、自分自身が歩かしていただく、おまえにこの喜びがあるか？ というのが話のかかりであつた。身上はかりものである、決して私自身のものではない。動かそうと動かまいと、私の関わり知つたことではない。神様のご一存でどうのでもあることである。

その自分ではどうにもならぬ身体が動く、これほどの喜びはないのだ。もし、目が覚めて、自分の目が見えなかったら？ 誰がこんなことは絶対

にあり得ないと断言できる。考えただけでも、朝起きて目が見えることは、どんな喜びかしれぬ。それは目の見えなかった者が目の見えたときの喜びと同じだ。四六時中、この心が動いてこそ本当に目に対するかきものの理が分かつたことになる。

今日再び貸し与えられたこの身上を精いっぱい使わしていただく。

「チイチク、チイチク、チュツ」

雀だ。あつ、耳も聞こえるのだ、うれしい。耳の聞こえなかった者が初めて聞こえるようになったときのようにうれしい。立つて縁に立つ。そして、精いっぱい呼吸をする。今日もまた、吸う息、吐く息の結構なご守護が身に染みてありがたい。

しかも、自分一人だけではない。家族の者が皆達者だ。昨日となんの変りもなく、機嫌よく顔を見せてくれる。

朝は一家何人かの誕生日だ。それだけの喜びがみなぎっているのだ。

## 秋田教区主催 前会長及び中高年層用木の集い開催

去る三月六日(日)午後一時半より秋田市内の交流施設「遊学舎」で、秋田教区主催、“前会長及び中高年層用木の集い”が開催されました。お助けの体験豊富な前会長さん方、その信仰をもっと発揮する場を設けさせて頂きたいという事と、短時間ではあります但那のような前会長さん方の講話を聞かせて頂き、それ元にして練り合いをさせて頂き、お互いの信仰を高めていきたいという趣旨から同集いが開催されました。

始めに教区長である当教会の会長さんが挨拶され、第一講では、都合で急きよ参加出来なくなった平根分教会前会長さんに変わり、秋森分教会長である上田弘一教区主事が、又第二講では、稲毛通明(みちあき)大曲分教会前会長さんがそれぞれ講話をされました。両講話とも内容の濃

い感銘を受けるようなお話で、参加者の方々も喜ばれたようでした。

その後練り合いとなり、講話の話を元として、様々なお道のお話を熱く語り合わせて頂きました。

この度は、一回目のテストケースという事でもあり、少数の方に絞って声をかけさせて頂きましたが、次回からは改めて教区行事として皆様にお伝えさせて頂き、充実した集いになる事を期待させて頂きたいと思ひます。



## 若年層婦人会勉強会

二月二十三日、若年婦人会の勉強会を開催しました。

講師、亀田町分教会の奥様の元、お道を通る上での心の持ち方、目標

などについて話し合いました。

リモートでの参加を含め五名の方々に参加して頂き、大変盛り上がり、勉強になりました。

## おたすけの心で ウクライナ難民の受け入れへ

皆さんご承知の通り現在ウクライナの難民が大きな問題となっており、青年会本部でも難民受け入れに向けて動いております。そこで当教会としても、受け入れの意思表示をさせて頂きました。

まだまだ詳細が分からず、県、市の対応も定かではありませんが、当教会としてもできる限りの支援をさせて頂きたいと思ひます。受け入れについての話が進むことがありましたら、また皆様にお知らせさせて頂きます。

神ミコト殿ノミヤ講コウ話ワ 由ヨシ利リ道ミチ分ワケ教キョウ會カイ長チヤウ

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめを着用し、神殿にご集合下さい。

729校